

# 平成15年度 和歌山県文化奨励賞

## た なか ひろ ゆき 田 中 博 行 (芸名 SABU)

住 所：東京都調布市

出 身 地：和歌山県和歌山市

生 年：昭和39年

### ◎業績及び経歴

昭和61年映画「そろばんずく」(森田芳光監督)で俳優としてデビュー。平成3年映画「ワールドアパートメントホラー」(大友克洋監督)で初主演し第13回ヨコハマ映画祭最優秀新人賞を受賞。

平成8年自らの脚本により「弾丸ランナー」で監督デビューを果たす。そのアクション描写と独創的な語り口が国内外で注目を集める。同作品で第18回ヨコハマ映画祭新人監督賞を受賞する。さらにカンヌ、ベネチアと並ぶ世界三大映画祭のひとつベルリン国際映画祭に正式出品し、海外から高い評価を得る。

翌年には、新人監督としては異例の早さで2作目「ポストマン・ブルース」を発表。アメリカインディペンデント映画祭の最高峰サンダンスフィルムフェスティバルに日本代表として北野武監督とともに招待を受ける。

その後も、平成10年「アンラッキー・モンキー」、平成12年「MONDAY」、平成14年「DRIVEドライブ」と次々に話題作を発表し、ベルリン、モントリオール、シカゴ等の国際映画祭で高く評価される。

平成15年には、長編第6作となる「幸福の鐘」を発表し、第53回ベルリン映画祭においてNETPAC(アジア最優秀映画)賞を受賞する。

氏は、現在の日本映画界を代表する映画監督の一人であり、優れた映画作品の創作を通して、映画文化の振興に貢献されている。また、世界的にも高い評価を得ており、今後より一層の活躍が期待されている。

### ■主な表彰歴等

平成3年 ヨコハマ映画祭最優秀新人賞

平成9年 ヨコハマ映画祭新人監督賞

平成10年 東スポ映画大賞作品賞

バンコク国際映画祭観客賞

平成12年 ベルリン国際映画祭

国際批評家連盟賞

平成15年 ベルリン国際映画祭 NETPAC  
(最優秀アジア映画)賞

ファンタジア映画祭 最優秀アジア  
映画作品賞

シネマニラ国際映画祭 審査員賞